



学校だより

ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番地 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾張旭市立
旭小学校
第8号
令和7年
11月27日

TEL 0561-53-2035

人権月間にあたって～多様性を大切にする学校づくり～

今から十数年前の話です。私の娘が幼稚園児の頃にお絵かきに夢中でした。その姿を見ていると「ペールオレンジ色のクレヨン、とって」と言われました。「その色は何だろう?」初めて聞く色だったので不思議に思いましたが、どうやら私が知っている「はだ色」でした。当時、低学年であった息子に聞いてみると「うすだいたい色だよ」と、これまた違う名称が…。私の知っている「はだ色」というのは、どうなってしまったのだろう…。

11月20日から12月19日の尾張旭市人権月間を迎えるにあたり、改めて「多様性」について考える機会としたいと思います。多様性とは、性別や年齢、考え方や得意なこと、文化や生まれ育った環境など、人それぞれ違うことを認め、尊重することであり、人権を守る第一歩です。

先ほどの話にも人権を考える要素があります。多様な国籍の人が暮らす社会で1つの色を「はだ色」と決めつけるのはふさわしくないということで、2000年前後に名称が変わっていました。私たち大人の「これが当たり前」「常識」という概念も、すさまじいスピードで変化する時代の中で、時には「この考えが当たり前と思っていたけど、今は違うのかも」と立ち止まって自分に問い直すことも必要かもしれません。

本校では、毎日の学校生活の中で、互いの違いを受け入れ、尊重する心を育てることを大切にしています。友だちが好きなことや得意なことを認めたり、困っている人に手を差し伸べたりすることは、多様性を尊重する行動です。また、言葉や態度で誰かを傷つけることなく安心して過ごせる学校づくりには、児童一人ひとりの気づきと行動が欠かせません。

保護者の皆様には、ご家庭でも「違いを認めること」の大切さを話題にさせていただきたいと思います。例えば、兄弟や友だちの意見を聞く、好きなことや苦手なことを尊重するといった小さな経験が、子どもたちの多様性を受け入れる力を育てます。

多様性を尊重する心は、学校だけでなく家庭や地域でも育まれるものです。人権月間は、私たち一人ひとりが、互いの違いを認め合い、尊重する生活を振り返る良い機会です。子どもたちが安心して学び、のびのびと成長できるよう、今後も学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいきましょう。

校長 岩下 徹

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ <お知らせ> ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

○ 運動会の参観をありがとうございました

去る11月6日(木)に予定通り、運動会を開催することができました。子どもたちの姿をみてご家庭でほめていただけたでしょうか?子どもたちの自己肯定感を高めるためには良さをほめていくことが一番です。子どもたちの「プチハッピー」を一緒に見つけてあげてください。

